

記入者氏名

記入日

年

月

日

**演習⑪ 事例を読み、この事例のどこに看護の専門性のどの要素が現れているのかを考える**



下記の事例を読み、この事例のどこに看護の専門性があるか、あなた1人で考えてもよいし、ほかの人と話し合ってもよい。話し合った場合は、どのような共通点、相違点があるか、また、お互いの考えに影響を与えていることは何かについて書く。

**事例 がん化学療法を受けているAさんへの看護**

長い入院生活で化学療法を受けていたAさんは、病状が悪化し体力的にも抗がん剤投与が厳しい状態となった。その頃、イライラすると突然看護師に怒鳴ったり、夜間にナースコールを頻回に押すようになった。いつも表情は硬く、つらそうだった。私はどうしたらイライラを和らげることができるか考えた。

私は、その後、「寄り添う」ことを大切にしようと考えた。疼痛もあり、オピオイドでコントロールしており、口腔内の炎症もみられた。私は、下肢のマッサージをしたり、「何か飲みたいものはないですか」と、声をかけたりするようにした。そのうち、マッサージを受け入れてくれるようになり、目をつぶって気持ちよさそうな顔をすることもあった。そういう時は、私までうれしくなった。

「寄り添う」とは、心を通わせることであるとまでは言わないが、それに近い状態を感じながらそばにいることかな……と思った。そして、関心を持っていることを感じてもらうことかなと思った。イライラをぶつけることが、彼女の気持ちを支えることになっていたのかもしれないと思った。

**トライ**